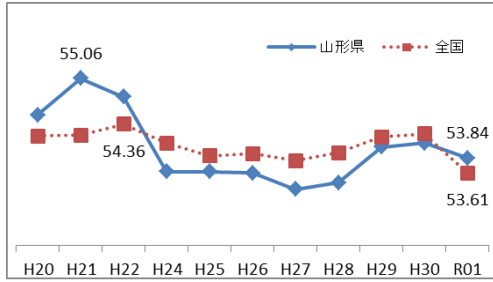


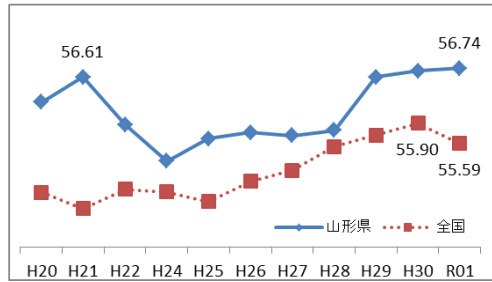
## 2 山形県の結果の概要

### (1) 体力合計点

小5 男子 (点)

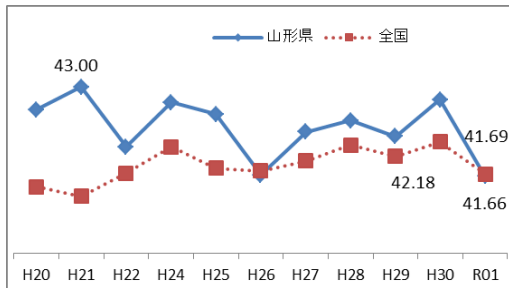


小5 女子 (点)

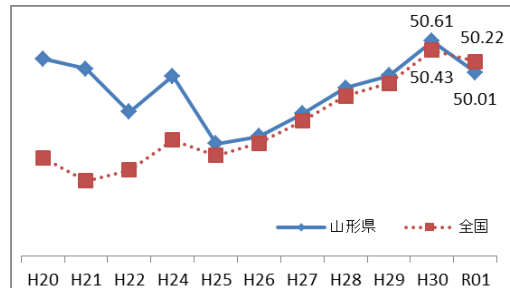


- 小5 男女共に全国平均を上回り、小5 男子が全国平均を上回ったのは平成 22 年度以来である。
- 小5 女子においては、昨年に引き続き 2 年連続で、本県の過去最高値を更新した。

中2 男子 (点)



中2 女子 (点)



- 中 2 男子においては、本県の過去最低値ではあったが、全国平均とほぼ変わらない値（-0.03 点差）であった。
- 中 2 女子においても、わずかに全国平均を下回ったものの、全国とほとんど変わらない値（-0.21 点差）であった。

### (2) 種目別結果

表1 令和元年度 本県児童生徒の種目別結果と体力合計点  
(○: 全国平均を上回った種目、-: 全国平均を下回った種目) 17/34

		① 握力	② 上体起 こし	③ 長座体 前屈	④ 反復横 とび	⑤ 持久走	⑥ 20m シャトル ラン	⑦ 50m走	⑧ 立ち幅 とび	⑨ ボール 投げ	全国 平均超 合計	体力合計点(点)		
												山形県	全国	全国差
小学校 5年生	男子	○	○	-	○	/	○	-	-	○	5	53.84	53.61	+0.23
	女子	○	-	-	○		○	-	○	○	5	56.74	55.59	+1.15
中学校 2年生	男子	○	-	-	-	○	○	-	-	-	3	41.66	41.69	-0.03
	女子	-	-	-	-	○	○	○	-	○	4	50.01	50.22	-0.21
全国平均超合計		3	1	0	2	2	4	1	1	3	17			

- 種目別にみると、持久走、20mシャトルランは、小5・中2のすべての調査対象で全国平均を上回っており、本調査開始以降、良い状態を継続している。

(3) 令和元年度中学校2年生の経年変化（平成28年度小学校5年生との比較）

① 体力合計点

令和元年度中2とその学年が平成28年度小5時の体力合計点を比較してみると、男子においては小5時-0.46点差あったのに対し、中2では-0.03点差に改善されている。女子においては小5時に全国を0.25点上回っていたものが、中2では-0.21点差となっているが全国平均とほとんど同程度を維持している状況であり、種目によっては改善傾向のものもある。これらのことから、令和元年度中2の体力合計点では男女共にわずかに全国平均を下回ったものの、経年で見ていくと、小学校から中学校までの各地区、各学校での継続した取り組みの成果が表れている。

表2 体力合計点の比較

	H28小5体力合計点(点)			R01中2体力合計点(点)		
	山形県	全国	全国差	山形県	全国	全国差
男子	<b>53.46</b>	53.92	<b>-0.46</b>	<b>41.66</b>	41.69	<b>-0.03</b>
女子	<b>55.79</b>	55.54	<b>+0.25</b>	<b>50.01</b>	50.22	<b>-0.21</b>

② 50m走

本県の長年の課題としてあげられる50m走は、中2女子が全国平均を上回っているが、小5男女及び中2男子は全国平均を下回っており、依然課題のある項目である。しかし、平成28年度の小5男子の分布を見ると全国平均を下回る層の割合が全国より高いが、令和元年度の中2段階になると、全国とほとんど同じ分布になっており、全体的に成長したことが窺える。女子においても同様で、平成28年度小5女子の全国平均を下回る階層の割合は全国より高いが、令和元年度の中2段階になるとその割合はほぼ全国と同程度になっており、各学校での取り組みの成果が窺える。ただし、中2女子においては、小5時の中間層の子供たちが上位増と下位層へ移行したことが窺え、今後ますます運動する生徒とそうでない生徒の2極化へと推移していくことが懸念される。

